

講義名	スポーツ科学演習Ⅲ（夏季学外コース）			授業形態	
担当教員	天田 英彦 / 伊藤 淳 / 越智 祐光	開講期・曜日・時限	前期集中 日曜日 その他		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	SP0201
主題と概要					
近年、余暇時間の増大に伴い、多様なスポーツをそれぞれの年齢や体力、技術に合わせて実施するようになった。またその中で海や川、山や空など多様な場を活用する、いわゆる「アウトドアスポーツ」の人口が高まってきている。 アウトドアスポーツは自然とのふれあいを通じて「自然の脅威、厳しさ」や「安全の大切さ」、また集団での行動を通じて「人とのふれあい」や「協力することの重要性」を認識する絶好の機会となる。そこで本演習ではアウトドアスポーツの中でも近年注目されている「海洋性スポーツ」を学習することで、生涯を通して自然と親しめる基礎知識や基本技術を習得することを目標とする。 本科目は、集団行動を伴うものであり、他者との意見の違いや立場の違いを理解し、協力して物事を進めると同時に、自らの役割を果たす必要がある。また、自ら目標を設定し、達成できるようにできるようにする。そのためには、様々な情報を収集したり、周囲と協力をしたりすることなどが求められる。そして、生じた課題に対して、その原因を分析し、どのような手段を用いれば解決できるのかを考え、行動できるようにする。					
到達目標					
1. 「健康」獲得の方法を修得できるようになる。 2. 海洋性スポーツ（ヨット、カヤック等）の操作方法を説明できるようになる。 3. 海洋性スポーツ（ヨット、カヤック等）を思い通りに操作できるようにする。					
提出課題					
・実習中は毎日、日誌を提出する。 ・学外実習終了後にレポートを提出する。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
提出課題に対し講評・解説を行う。					
評価の基準					
・実習点：60％ ・提出課題：20％ ・レポート：20％					
履修にあたっての注意・助言他					
1. 履修スケジュールに従って、WEB登録をしてください。 2. 事前研修等の連絡はキャンパスクロスで行います。随時確認するようにして下さい。 実習期間 2025年8月下旬～9月初旬の3泊4日（予定） 実習場所 神戸NICA余呉野外活動センターを予定 受講者数 30名程度(希望者多数の場合は抽選) 経 費 ・学外研修に必要な経費は個人負担。 （50,000円～60,000円を予定していますが、上回る可能性もあります。） そ の 他 用具類はすべて現地で備用(無料)					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					

その他	
必要に応じて、資料を配付します。	
授業計画	
1 事前研修 1 ・インストラクション ・グループ編成 ・講義「余暇と野外活動の関連性」 予習：余暇時間の増加と野外活動の関連性について、調べておくこと（120分）。 復習：講義内容をまとめ、疑問点を整理しておくこと（120分）。 2 事前研修 2 ・講義「アウトドアスポーツの現状と課題」 予習：アウトドアスポーツの現状について調べておくこと。また、自分自身のアウトドアスポーツの実施状況について、まとめておくこと（120分）。 復習：講義内容をまとめ、疑問点を整理しておくこと（120分）。 3 事前研修 3 ・講義「海洋性スポーツの安全対策」 ・グループ討議 ・学外研修の最終確認 予習：海洋性スポーツに潜む危険性について、調べておくこと（120分）。 復習：講義内容をまとめ、疑問点を整理しておくこと（120分）。 4 学外研修 第 1 日目 午前 大卒出発 午後 開講式、海洋性スポーツ体験 1 夜間 講義 1 予習：実習予定の海洋性スポーツの基本操作について、調べておくこと（120分）。 復習：実習内容と講義内容をまとめ、日誌を作成すること（120分）。 第 2 日目 午前 海洋性スポーツ体験 2、野外炊飯 午後 海洋性スポーツ体験 3 夜間 講義 2 予習：実習予定の海洋性スポーツの基本操作について、調べておくこと（120分）。 復習：実習内容と講義内容をまとめ、日誌を作成すること（120分）。 第 3 日目 午前 海洋性スポーツ体験 4、野外炊飯 午後 海洋性スポーツ体験 5 夜間 講義 3 予習：実習予定の海洋性スポーツの基本操作について、調べておくこと（120分）。 復習：実習内容と講義内容をまとめ、日誌を作成すること（120分）。 第 4 日目 午前 海洋性スポーツ体験 6 午後 開講式、大卒解散 予習：実習予定の海洋性スポーツの基本操作について、調べておくこと（120分）。 復習：実習内容と講義内容をまとめ、日誌を作成すること（120分）。 5 事後研修 ・実習のまとめと反省 予習：実習内容をまとめておくこと。特に、新たな気づきについて発言できるよう準備しておくこと。（120分）。 復習：実習での学びの活かし方について、まとめること（120分）。	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☒ カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の5項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。 集団や個人でスポーツ実践へ取り組み中で、明るく元気で、どのような場所でも物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く力、つまり「ネアカ のびのび へ こだたす」の精神を育むことができる。また、問題点やその要因を見出し、自らが進んで取り始めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組みることにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。 生涯にわたってスポーツと関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。 以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
実務経験の有無及び活用	
備考	